



病院図書室に電子ジャーナルは根づくか

安田 多香子

I. はじめに

電子ジャーナルが普及し始めたのはインターネットが爆発的に拡がり始めた1995年頃である。先を争っての電子ジャーナル化はみるみるうちに格段の進歩をみせた。今では電子体を持たない医学ジャーナルが珍しいほどだ。しかし、技術の革新はあっても、それを取り入れ利用する側、とりわけ小さな図書室では、今もって右往左往している現状ではないだろうか。日々変化している電子ジャーナル界だが、「今」の時点での現状を探り、「病院図書室に電子ジャーナルは根づくか」という問いの答えを考えてみたい。

II. 「電子ジャーナル」の種類

「電子ジャーナル」とは、今ではネット上に公開されているジャーナルのことをいうが、大きく分けて2種類ある。

1. オンラインジャーナルデータベース (表1)

ひとつはアグリゲーター⁽¹⁾とよばれるBell & Howell Information and LearningやEBSCOなどが作っている、フルテキストのデータベースを検索機能つきで提供するタイプである。これはアグリゲーターによって電子化されている。パッケージになっているので、手続きは簡単だが、バックになっている他のジャーナル(PQMLなら220誌すべて)を買うことにもなる。欲しいジャーナルが含まれているかどうかは問

題である。大学図書館のように多種のジャーナルが求められる場合はよいが、当図書室の場合、パッケージ全体に支払う金額に比べ、欲しいジャーナルが少ない。

表1. オンラインジャーナルデータベース

| アグリゲーター | 提供サービス名 | 扱う雑誌数・内容 |
|--|---------------------------------|---------------------------|
| Bell & Howell Information and Learning | PQML (ProQuest Medical Library) | 220誌 '94 - (196誌が全文) 医学関係 |
| EBSCO | EBSCOhost | 1,252誌 医学以外も含む |

2. 出版社の出す電子ジャーナル (表2)

一方、各出版社が出している電子ジャーナルは大手Elsevier ScienceやAcademic Pressのようにプリント版出版社が単独で電子出版局をもっているもの(①)や、HighWire Press (スタンフォード大学にある出版局)等の電子出版局に載せているもの(②)とがある。ジャーナル誌毎のホームページがあり、ほとんどプリント版ジャーナルの電子体である。

表2. 出版社の出す電子ジャーナル

①Elsevier Science, Academic Press (IDEAL), Blackwell Synergy, Oxford University Press, Springer-Verlag (LINK) 等

②電子版出版局

Catch WordCarfax, Royal Soc Chem等15の出版社が採用 登録制

HighWire Press.....Stanford大学の電子版出版局。多くの主要な雑誌を電子化、提供している。

BioMedNetCurrent Science Group等 登録制

やすだ たかこ：愛知県がんセンター図書室
tyasuda@aichi-cc.pref.aichi.jp

3. 電子ジャーナルへのプラットフォーム (表3)

電子ジャーナルへ検索機能をもちつつ繋ぐシステム、いわゆるプラットフォームを提供しているものもある。これらはプリント版購読を条件にしていたり、プリント版より高価であったりして、小さな図書室では利用が難しい。Elsevier Scienceは、この自社のシステムでしか提供していない。

表3. 電子ジャーナルへのプラットフォームを提供

| アグリゲーター | 提供サービス名 | 扱う雑誌数・内容 |
|------------------|----------------|----------------------------|
| OVID | journals@ovid | 392誌 '96- (一部 '93・'95-) |
| OECD | ECO | 51社 2,530誌 |
| Elsevier Science | Science Direct | Elsevier 1,100誌 '96- |
| | SD21 | 同上 |
| | SDweb-edition | プリント版購読誌 |

Ⅲ. 電子ジャーナルの価格はどうなっているか

外国雑誌の定価は10年程前から毎年約10%値上がりし続けてきた¹⁾。原因については、論文数の増加と購読者数の減少といわれているが、ここ数年はさらに、電子ジャーナルの開発費、設備投資費が含まれているときいている²⁾。確かに、多くの出版社が1997年には堰を切ったように電子ジャーナル化を進めたが、これには当然経費がかかる。プリント版の定価にその費用が含まれているとの推測ができる。

1. 大手出版社の電子ジャーナルの価格

表2の①のAcademic PressはIDEALというコンソーシアム価格の設定で、小さな図書室では手が出ない。Elsevier Scienceは「SD21」(表3参照)で、2001年まではプリント版購読者のある一定以上の購読金額の図書館に対してすべてのジャーナルを提供しているが、当然2002年からは違う価格設定となる。また、現在web-editionとして、プリント版購読者には(例え1誌でも)9ヶ月分のフルテキストを提供している。(日本の代理店に申し込む)

2. 増えているプリント版with (プリント版購読者は電子ジャーナルも購読できる形態) (表4参照)

1998年にはEBSCOの扱っている2,200誌の半分以上が、プリント版の購読者にはFreeになっていた³⁾。1997年には、愛知県がんセンター図書室の購読誌127誌中10誌のみがwithだったが、2001年には92誌中49誌がwithになった。ある病院図書室でも、2001年購読誌62誌中34誌が電子ジャーナルを購読できる権利があることがわかった。

(1) 何故withなのか

利用者側としては、電子版に移行するには問題が多く(インフラの整備、契約中止時のバックナンバーの確保、支払方法、そして価格)、今はプリント版と両方を求めているということ。出版側としては、プリント版契約者数を減らしたくないため電子版を付加価値としてつけている。

(2) どうやってwithのジャーナルを見つけるか

出版社からのLetter、プリント版の中のお知らせ、「これは?」と思うジャーナルのホームページを探し(北海道大学の電子ジャーナルリンク集 http://ambitious.lib.hokudai.ac.jp/online_journal/ などから)、文献の「Full Text」をクリックしてみると「Subscribe」の画面に行き着ける。また、HighWire Pressのジャーナルを時々チェックしてみるのもいい方法である。

(3) プリント版withのSubscribeの実際

インターネット上でフルテキストを見るためには何らかの認証が必要になる。Springer-Verlagは取次店に手続きをすると、「LINK No.」とSubscriber No.が送られてくる。「Lancet」はSubscriber No.とAuthentication No.を郵送で知らせてくるので、それを入力すればすぐにフルテキストが見られるようになる。「Lancet」と「New England Journal of Medicine」はパスワード方式であるので、IPアドレスは不要だ。その他の多くの雑誌はサイトライセンス方式で、

一度IPアドレスを登録すれば、登録したクラスのLANのどこからでも自由にアクセスできる。ポイントはSubscriber No.を調べておくこと（プリント版の宛名ラベルにある。直送でない場合は取次店に遠慮なく問い合わせる）と、IPアドレスを知っておくことである。ホームページからその2つと住所、名前、Eメールアドレスなどを入力すれば、多くの場合、すぐに自分で設定したアカウントとパスワードを使ってフルテキストが見られるようになる。

(4) IPアドレスについて

IPアドレスがわからない場合、「http://jk01.jamas. gr. jp/ipdisp. pl」のサイトに行くと「あなたのIPアドレスは…です」と教えてくれる。

しかし、ダイヤルアップでプロバイダを通している場合、IPアドレスはその時その時で違ってしまふ。グローバルIPアドレスと呼ばれる個別のアドレスを取得しなければならない。1995年頃、1ヶ月70万円したという専用回線が今では月額3～4万円で契約できるようになり（最初の設備費は必要）、IPアドレスが取れる（通信速度128Kbps～）。施設設備が可能なら、ケーブルTVを通じての契約でもIPアドレス取得もでき、もっと格安で早い（アナログの電話回線33.6kbps、ISDN 64kbpsに比べ128～512kbps）。また、光ケーブル（100Mbps）、ADSL（640Kbps～1.6Mbps）など高速通信の価格も次々に下がっていく。これらの回線を使い、グローバ

表 4-1. プリント版withのジャーナル
 (ここに紹介するのはほんの一部に過ぎない。是非、購読誌のホームページから探してもらいたい。)

| 認証方式 | 出 版 社 | 代表的な雑誌名 | エレクトリック出版 |
|---------------------------|--|--|--|
| サイトライセンス方式 (IPアドレスが必要) | AACR Am Coll Physicians BMJ Pub Elsevier Science* Springer-Verlag Oxford University Press Royal Soc Chem Am Soc Hematol John Wiley & Sons Lippincot Williams & Wilkins Am Soc Clin Oncol | Cancer Research Ann Internal Med Gut BBA World J Surg Brain Analyst BLOOD Cancer Am J Surg Pathol J Clin Oncol | 5 誌込 Inst 価格購読者 ACP-ASIM (Inst 価格購読者) SD web-edition Link OUP Catch Word HighWire Press Wiley Interscience Lippincott HighWire Press |
| パスワード方式 (IPアドレス不要) | Churchill Livingstone Lancet Massachusetts Med Soc Mosby W. B. Saunders | J Pain Lancet New England of Medicine Surgery Human Pathology | Harcourt Health Science the Lancet Online NEJMon-line Harcourt Health Science Harcourt Health Science |

*Elsevier Scienceは最新9ヶ月分のみをwithでつけている。

表 4-2. プリント版withではないジャーナル（エレクトリック版価格を設定）

| 出 版 社 | 代表的な雑誌名 | エレクトリック出版 |
|-------------------------|-------------------------|-----------------------------|
| nature pub group | nature | +エレクトリック価格 nature pub group |
| Cell Press | Cell | +エレクトリック価格 Cell Press |
| Am Soc Biochem Mol Biol | J Biol Chem | 別価格 HighWire Press |
| Am Assoc Adv Sci | Science | +エレクトリック価格 Science Online |
| Blackwell Science | J Gastroenterol Hepatol | 別価格 Blackwell Synerger |
| Academic Press | Virology | コンソーシアム IDEAL |

ルIPアドレスを取得できる契約を各プロバイダ経由で調べれば、数年前に比べて驚くように安いことがわかる。

IV. 根づかせたい電子ジャーナル

1. まず環境を整えよう

1998年の日経BP社の調査では、すでにネットワーク化されている病院は25%、その計画がある病院は42%であり、勤務医の半数以上がインターネットを利用しているという。NLMがMEDLINEを開放して以来、インターネットは病院図書室にとっても、最早欠くことのできないものとなった。PubMedは、検索結果のフルテキストへのリンクをつけられる出版社を、日に日に増やしてきている。プリント版withでなくとも「BMJ」のようにFreeの電子ジャーナルもある。Freeの医学電子ジャーナルを集めたサイト (<http://www.freemedicaljournals.com>) や、Highwire PressのFreeのジャーナルリスト (<http://www.highwire.org/lists/freeart.dt>) では、トライアル中のものや、6ヶ月たつとFreeになるものなどがわかる。ストレスなく電子ジャーナルの全文を見るには、少なくとも64Kbpsの速度と常時繋がっている環境が欲しいものだ。そして、図書室と医師の部屋のパソコンがLANで繋がっていれば、IPアドレス登録の電子ジャーナルが使い、図書室からのお知らせや、電子ジャーナルの案内もイントラネットを通じてできるのである。

2. できることからやってみよう

もし、院内LANへの理解がまだまだという状況なら、せめて、パスワード登録の電子ジャ

ーナルを繋げてみよう。そして、Freeのジャーナルを案内し、利用者に電子ジャーナルの体験をしてもらおう。プリント版より格段の到着の早さ、関連の文献へのリンクなどのメリットが納得されよう。

IT革命といわれる昨今、小さな図書室にとってこそ、電子ジャーナルを根づかせ、武器にしたいものである。

参考文献

- 1) 廣井聡：学術情報（学術雑誌）流通におけるインターネットの大学図書館への影響とその環境下における大学図書館の役割．公立大学図書館協議会研修報告．1997：44-56.
- 2) 長塚隆：医学の電子ジャーナルの今．医学図書館．1998；45（2）：194-200.
- 3) Orsdel LK, Born K: Periodical price survey 1998. E-journals come of age : Libr J. 1998 ; Apr. 15 : 40-44.
- 4) 安田多香子：誰が電子ジャーナルの価格を決めるのか．医学図書館．1998；45（4）：434-439.

注1) アグリゲーター（Aggregator）とは、複数の出版社のオンラインジャーナルを集めて供する企業のこと。雑誌エージェントやデータベースを作ってきた会社が多い。

注2) 表に関しては、すべて2001年4月現在のデータ。